



Resilience Research Unit, Kyoto University

C1-2-431, Katsura Nishikyo-ku, Kyoto 615-8540, Japan

TEL: 075-383-3238 FAX: 075-383-3236

リスク・マネジメントに基づく 「新型コロナウイルス対策」の提案

～緊急事態宣言・出口戦略編～

(Part 4 : 令和2年4月22日)



京都大学レジリエンス実践ユニット



レジリエンス実践ユニット

概要：自然災害や世界恐慌やパンデミック、テロ攻撃等に対する**レジリエンス**（強靱性）を確保するための実践的研究を行う研究組織。

<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/resilience/>

設置：2011年（前進の研究ユニット設置）

構成員：

藤井 聡（ユニット長・工学研究科）、宮沢孝幸（ウイルス・再生医科学研）、柴山桂太（人間・環境学研究科）、清野純史（工学研究科）、矢守克也（防災研究所）、大西正光（防災研究所）、山田忠史（経営管理大学院）川端祐一郎（工学研究科）、中尾聡史（工学研究科）

協力：

川崎医科大学総合臨床医学 桑原篤憲准教授



コロナ対策の基本方針

「医療崩壊」を回避しつつ、
新型コロナウイルスによる「死亡者数」
「重症者数」の抑制を重視すると同時に、
その対策による「自殺者増」を含めた社会的
経済的被害も踏まえた上で、
長期的な国民的被害の最小化を目指す。

今回の「緊急事態宣言」

令和2年4月7日 安倍総理会見

「医療提供体制もひっ迫・・・

全国的かつ急速な蔓延による

国民生活及び国民経済に甚大な影響を

及ぼすおそれがある事態が発生した。」

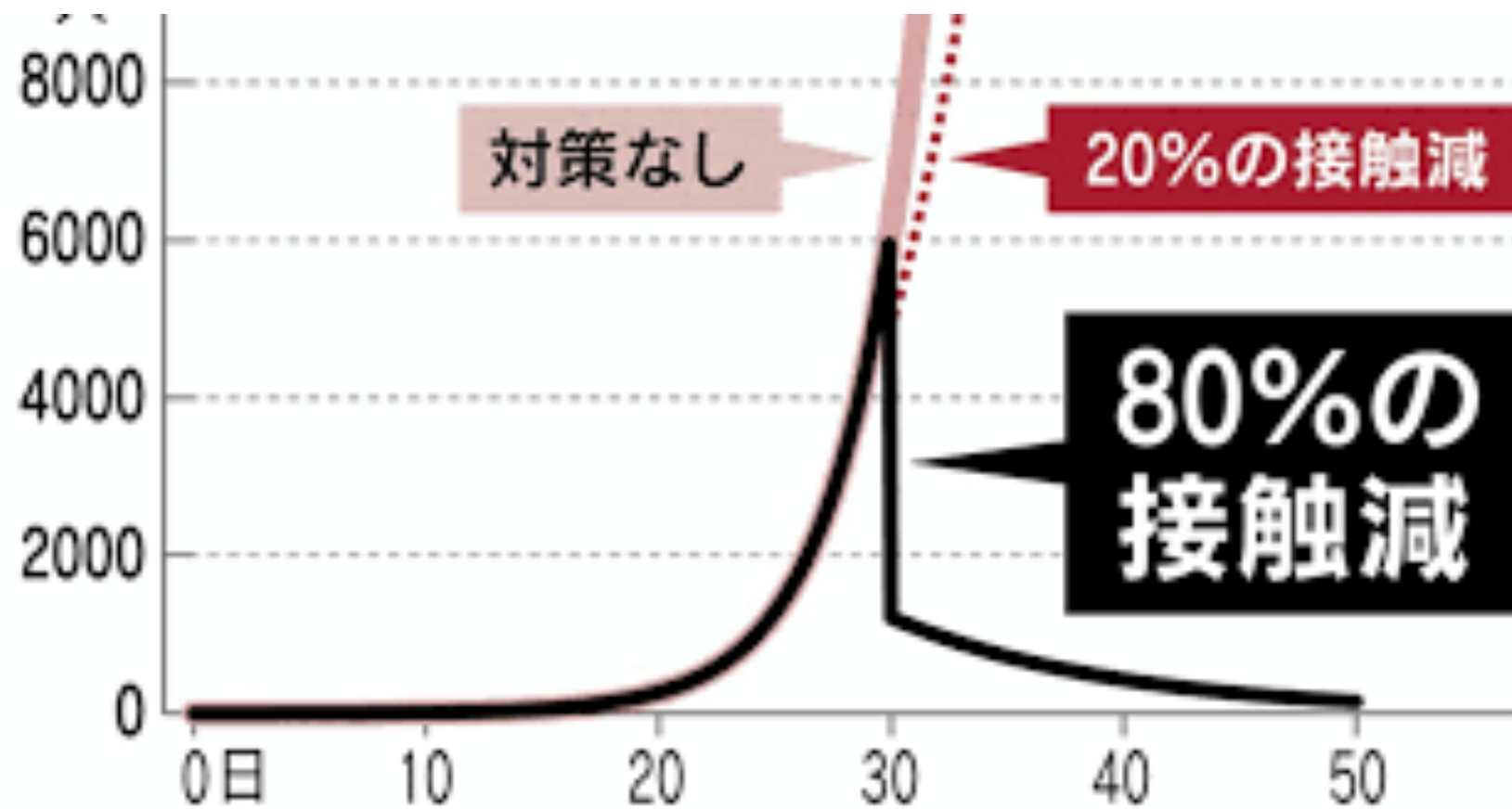
→ **医療崩壊（需要＞供給）の回避のための宣言**

「国民の皆様には、

7割から8割の削減を目指し外出自粛を」

→ **接触機会の7～8割減要請**

西浦教授の「接触8割減」論



ただし・・・

自粛を解除すれば、
必ず感染爆発が起こる。

だから、**自粛解除は超長期でできない**、あるいは
自粛→解除→自粛を繰り返すのでは？

ではなぜ、
西浦教授は「10割」でなく「8割」というのか？

西浦教授が10割でなく「8割」減を主張する理由

- 西浦教授は、厚生労働省 **クラスター対策班**。
- クラスター対策：
 - 感染者を見つけ、
 - その濃厚接触者を洗い出し検査し、隔離、
 - そのまた濃厚接触者を洗い出し検査し、隔離…
を繰り返して、**ウイルスの完全撲滅を目指す**
- 今、感染者が多く、それができなくなっているので、**感染者数をある程度まで抑えたいから…8割減を主張。**
- つまり今全国民は、政府の要請で、**「西浦クラスター班の取り組みに協力」**している。

しかし、 西浦流クラスター作戦は（ほぼ間違い無く）絶対破綻する

- しかし、この「クラスター作戦」は**失敗の公算が高い**。
- なぜなら、「**無症状感染者**」が約半数もいるから。
（徹底検査をしたアイスランドからの知見）
- **だから、「ウイルス撲滅」は難しい。**
にも関わらず無理にクラスター作戦を続けると、かえって被害が拡大！
（自粛を永遠に続けるか、自粛→解除→自粛→解除を繰り返す。
結果、経済は大打撃。かつ急拡大を繰り返し、感染死も増えるリスク）

だから . . .

- ウィスルの“撲滅”を目指す、
「抑圧戦略」 = 「接触機会8割減」 から
- ウィルス被害の最小化を目指す
「緩和戦略」 = 「感染機会8割減」
(あるいは、集中防御戦略)

に切り替える必要がある。

感染機会を8割（以上）減らし、しかも、 今の西浦アプローチより死亡者を激減させる 「5つの対策」

- ① 高齢者等の徹底保護 ：「コロナ弱者」を集中防護
→ 死者数が激減 → 医療崩壊リスク激減
- ② 徹底的な換気 ：3密の中でも特に「換気」を集中徹底
→ 空気感染を無くす
- ③ 飲食中の会話自粛（当該業態営業自粛含む） ：特に「宴会/会食」を集中ケア
- ④ 粘膜接触営業の自粛 ：店舗の中でも特に「カラオケ/風俗」を集中自粛
- ⑤ 手洗い/顔接触回避/マスク ：「口鼻→手→口鼻」ルート of 感染を集中防護
→ 接触感染を無くす

感染機会を8割（以上）減らし、しかも、 今の西浦アプローチより死亡者を**激減**させる 「5つの対策」

この「集中防御戦略」ができれば、

- 1) **経済を平時に近い状況で回す**ことができる。（スウェーデンが実施中）
- 2) **感染爆発も防げる**——>クラスター作戦も継続可能となる
- 3) ゆっくりと感染者を増やし、**円滑に集団免疫の獲得を促す**

今の、接触機会8割減の「緊急事態宣言の**解除時**」に
感染機会8割減の「集中防御戦略/緩和戦略」に**移行すべし**！

集中防衛戦略における注意事項

- 高齢者等の対策には・・・政府、地域社会、家族の協力が必須！
- 店舗営業自粛には・・・政府補償が必須
- 「換気」「接触感染対策」には・・・各店舗の努力 & 政府補助が必須！
- 皆での飲食中の会話自粛には & 手洗い/顔接触の回避には
・・・一人一人の心がけが必須！

皆の「協力」で日本は救われる。

確かに、「接触8割減」は感染抑止に効果はある。

しかし、それはあまりにも代償が大きい。

少しの心がけがあれば、接触しても感染は防げる。

結果、経済が回り、感染も激減し、死者も激減する。

国民一丸となって努力すべきは、「自粛」でなく、

「感染しない/させない」努力運動であるべきです。